平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 30 日

評価対象事業	評価者	道路課担当課長　森 明彦
都整-14　道路維持補修事業 ■ 自治事務 □ 法定受託事務	主管課	道路課
	関連課	

総合計画上の位置付け	分野	道路整備	施策の方針	道路・橋りょうの整備・維持管理

1　事業の目的

対象	市民等
意図	市民等の安全性、利便性を確保するため。
効果	安全で円滑な交通を確保するための施設保全を図る。

2　平成27年度に実施した事業の概要

・道路の維持補修を行い、安全で円滑な交通を確保し、事故防止に努めるとともに、通学路の安全対策を実施した。
・市道434-046号線の北鎌倉隋道安全対策工事については、前年度からの通次繰越分を含めて実施したが、当年度継続費年割分を年度内に完了できないため、翌年度へ通次繰越した。
・崩落土砂の除去を行い、通行の安全確保を図った。
・大町三丁目11番先(市道006-044号線)の法面の安全を確保するための詳細設計を行った。
・山ノ内520番(市道434-046号線)の道路景観の検討を行った。
・山ノ内520番(市道434-046号線)の安全対策工事のため、実施設計を行った。
・裁判用の資料・副本等を作成するために委託業務を行った。
・北鎌倉隋道安全対策事業は、年内に業務を行わなかったため、翌年度へ繰越を行った。

2　事業費等基礎データ

	データ区分	26年度決算	27年度決算	データ区分	28年度当初予算	備　考
人口等のデータ	人　口	177,464人	177,243人	人　口	176,869人	・各年3月31日(住民基本台帳)
	世 帯 数	80,368世帯	80,676世帯	世 帯 数	80,928世帯	
	事業の対象者数			事業の対象者数		
運営資源状況	決算値(千円)	123,338	158,007	当初予算(千円)	204,914	
	国県支出金		1,571	国県支出金	493	
	地方債			地方債		
	その他	98,323	98,559	その他	94,564	
	一般財源	25,015	57,877	一般財源	109,857	
	人員配置数	2.0	2.0	人員配置数	2.4	
	人 件 費(千円)	16,969	17,049	人 件 費(千円)	19,830	
事業運営経費	総事業費(千円)	140,307	175,056	総事業費(千円)	224,744	
	市民1人当りの経費(円)	791	988	市民1人当りの経費(円)	1,271	
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)		

3　評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか		2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか		3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか		2. 増大している
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいか		3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か		5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか		2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいか		4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入	△-2. 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施	△-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない
			協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	■ a:事業内容を見直す ⇒	見直しの種類	■ 拡大	見直しの内容
	□ b:事業内容は現状通りとする		□ 縮小	道路の維持補修については、優先順位を定め、計画的な舗装修繕に努める。
	□ c:事業を休止又は廃止する		□ その他	
	□ d:他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒			事業へ統合
予算規模の方向性	■ A:予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	市内の道路は、整備後相当年数が経過しているため、舗装状態が悪く、市民から補修要望が多く寄せられているため、予算規模を拡大して対応を図る必要がある。	
	□ B:予算規模は現状維持とする			
	□ C:予算規模を縮小する			
総評(評価に対する考え方、根拠等)	道路の維持補修については、計画的な舗装修繕に努めるとともに、作業センター、他企業(水道、ガス等)との連携をより強化し、有効かつ効率的な対応を図る。			

平成27年度事業実施にあたっての課題（前年度未解決の事項を含む）	市内の道路は、整備後相当年数が経過しているため、舗装状態が悪く、市民から補修要望が多く寄せられている。また、内容も多岐にわたるため、その対応が難しい。	
課題解決のために行った平成27年度の取組	市民からの要望内容及び状況に応じるため、作業センターとの連携を図り、また道路調整会議等で他企業（水道・ガス等）との連携をより強化し、有効かつ効率的な対処を行った。	□ 解決 □ 一部解決 ■ 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	市民からの道路に関する補修要望は多く、内容も多岐にわたる。また、抜本的な改修が必要とされる箇所が多く、対応に数年を要することになる。	

○ 他市比較・ベンチマーク（県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値）

比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									

比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									

比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容		単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由						

年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
目標値						
実績値						
達成率						

指標の内容		単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由						

年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
目標値						
実績値						
達成率						

指標の内容		単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由						

年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
目標値						
実績値						
達成率						

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	

● 事業に関する特記事項

□ 第3期基本計画前期実施計画重点事業	□ 19節で予算措置している補助金が含まれる事業